

プラチナ
カレッジ2024年度
第2シリーズ

私たちの社会と 情報数理学

近代技術は情報を次々にデジタル化してきました。現代では、情報のやりとりは《数字のやりとり》になることが多いのです。情報を数字に変えたり元に戻したり、加工したり、遠方の相手と交換しあったり、こうした作業には大変な厳密さと高度な技術が要求されます。数字の扱いを専門とする理論数学と、コンピュータをはじめとする情報機器の発展、情報科学はこれを統合する学問として、急速に発達しました。

今回の講義では、現在の情報科学の発達の背景と現状、そして近未来に予想される私たちの社会の姿について、分かりやすく解説します。

11/29
[金]

デジタル情報と 暗号

村田 玲音

(本学 名誉教授)

講義の前半では、文字情報、画像情報、音声情報などが、どういった形でデジタル化（数値化）されているのか見ていきます。後半では、デジタル化された情報を巧妙に変形しながら利用する典型的な例として《暗号》をとりあげ、その歴史や現代暗号の姿について紹介します。

12/6
[金]

コンピュータの速度と 私たちの社会生活

今井 浩

(本学 情報数理学部 教授)

現代の情報化社会を支えてきたのは、コンピュータをはじめとする情報機器の進歩です。コンピュータの計算速度が速くなるとはどういうことか、速度が上がるとどういう効果が得られるのか、技術と情報科学分野の発展を、歴史的視点から概観します。

12/13
[金]

高度情報化社会の 新たな問題点

穴田 啓晃

(本学 情報数理学部 教授)

数字をうまく利用することにより、様々なものが昔は考えられなかったくらい便利になりました。数字（デジタル）には「極めてコピーしやすい」という性質があり、新しい技術は新たな課題や問題も引き起こしました。この講義では、それをどのように解決しようとしているのかを考えていきます。

時 間 全日 18:30～20:00

受 講 料 3,600円 (全3回)

会 場 明治学院大学白金校舎 2401教室

お問合せ

明治学院大学 学長室 社会連携課 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37
TEL : 03-5421-5247 (平日 9:30 ~ 16:00) E-mail : mpc@mguad.meijigakuin.ac.jp

お申込み・詳細情報は
こちらから

